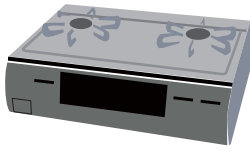

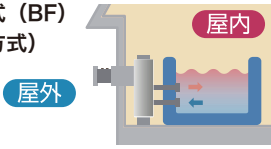

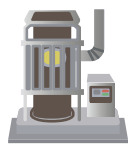
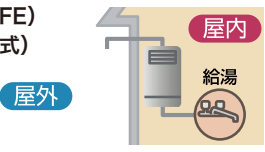
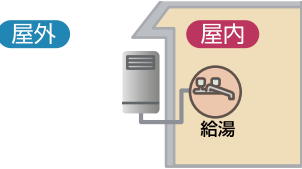


ガス・石油機器について

燃焼方式による給排気方式の区分

● 給排気方式		● 燃焼方式 (例)	● 燃焼方式 (例)
開放式	空気を屋内からとり、排気も屋内に出す方式	自然燃焼方式 	強制燃焼方式 
密閉式	空気を屋外からとり、排気も屋外に出す方式	自然給排気式 (BF) (自然燃焼方式) 	強制給排気式 (FF) (強制燃焼方式) 
半密閉式	空気を屋内からとり、排気を屋外に出す方式	自然排気式 (CF) (自然燃焼方式) 	強制排気式 (FE) (強制燃焼方式) 
屋外式 (RF)	空気を屋外からとり、排気も屋外に出す方式		

● 給排気方式とは

給排気方式は、「給気方式」と「排気方式」とを組み合わせた言葉です。給排気方式は、ガスや石油を燃焼させるのに必要な空気をどこからとり入れ、排気ガスをどこへ出すかによって異なり、「開放式」「密閉式」「半密閉式」「屋外式」があります。「開放式」「密閉式」「半密閉式」は、機器が屋内にあります。

● 燃焼方式とは

燃焼方式には、「自然燃焼方式」と「強制燃焼方式」があります。「自然燃焼方式」は、燃焼の給排気を自然の通気力に任せる方式です。「強制燃焼方式」は燃焼の給排気をファンなどを使って強制的に行う方式です。

● ガスの種類

ガスの種類には、大きく分けて都市ガスとLPガス（液化石油ガス）があります。都市ガスはさらに7種類に分けられ、12A、13Aはその種類の1つで、天然ガスとも呼ばれています。LPガスはプロパンガスを主成分としています。ガス機器には、その機器に合うガスの種類がラベルで表示されています。家庭で使用するガスの種類に合うものかどうかを確認してください。

省エネ性能一覧における記載値

ガス消費量やエネルギー消費効率などの値は、ガスの種類によって異なります。本カタログに記載されている数値は、都市ガス13Aに対応した値です。

● 石油と灯油

石油(原油)は、製油所でそれぞれ用途に適したLPガス、ガソリン、灯油、軽油等の石油製品につくりかえられます。家庭で使われている石油機器は、灯油を使用します。石油ストーブ等にガソリンを使用すると、火災になるおそれがあります。

● その他の用語

ガス消費量 (kW)

ガス機器が単位時間あたりの燃焼で消費するガス量を、単位時間あたりの熱量 (kW) で表しています。例えば、1時間に1m³の都市ガス (13A) を消費する機器であれば、ガス消費量は約13kW*となります。

*都市ガス (13A) の場合、ガス発熱量 = 46.05MJ/m³
3.60MJ/kWhより、ガス発熱量 = 46.05/3.60 = 12.79 (kW)

燃料消費量 (L/h)

石油機器が単位時間あたりの燃焼で消費する灯油量(L/h)で表しています。

エネルギー消費効率 (熱効率)

一般的にガス・石油機器のエネルギー消費効率は熱効率*で表します。消費したガス・石油の発熱量のうち、排気ガスが持ち去る熱量 (逃げた熱量) が少なく、対象物に与えた熱量が多くなると、熱効率は高くなります。熱効率が100%に近づくほど、省エネ性が高くなります。

*ガスこんろのグリル部、オープン部のエネルギー消費効率は、熱効率ではなく、1回あたりの調理に要するガス消費量で表し、その値が小さいほど、省エネ性が高くなります。

$$\text{熱効率 (\%)} = \frac{\text{対象物に与えた熱量}}{\text{消費したガス・石油の発熱量}} \times 100$$

